

## 令和6年度 職員（個人）英語自校評価（％） 下段は保護者評価

| 評価の窓 4：良好 3：やや良好 2：努力を要する 1：かなり努力を要する 0：わからない |     |    |    |    |   |   |
|-----------------------------------------------|-----|----|----|----|---|---|
| 評 価 項 目                                       |     | 4  | 3  | 2  | 1 | 0 |
| 児童は、英語に興味をもって学習しようとしている。                      | 職員  | 34 | 62 | 3  | 0 |   |
|                                               | 保護者 | 22 | 36 | 29 | 7 | 6 |

英語科について、本校職員の自己評価は、「4：良好」「3：やや良好」が9割以上を占める結果となっている。「ALT を活用し、楽しい英語活動の充実を図る」ことについて努力できていると捉えている。一方で、保護者評価では、3割以上が「2：努力を要する」「1：かなり努力を要する」という結果となった。昨年度と比較し、「児童が興味をもっている（4：良好）（3：やや良好）」割合は上昇した。

この結果を受け、対話を中心とした授業を継続しながら、更に「英語でコミュニケーションをとりたい！」と思える目的や場面、状況等を設定することを大切にしたい。児童の学ぶ心に火をつけることで、より深い学びを実現することができる。本当に表現したい内容があると、「英語でどのように表現するか知りたい」「自分が伝えたいことが伝わるか楽しみだ」「英語でできた！次が楽しみだな」と思えるようになる。このような指導を通して、「本当に伝えたい内容をやりとりする楽しさ」「英語という言葉そのものへの興味への奮起」を味わわせていきたい。低学年については、英語遊びを通した学びであるため、歌や遊びによって楽しみながら学習することができている。英語に触れる機会を増やしていきたい。

今後も、職員研修の充実を図るとともに、音声中心とした授業を進め、児童が英語に興味をもって学習に取り組めるようにしていきたい。